

は
が

「さあ 写ろうで」みんなで記念撮影 自治会の半数以上が参加

初めて時く子ども達も、おじいさんやおばあさんに教えてもらいながら作業をしました。10年前、休耕田を活用しようとしたことがきっかけで、地域の世代交流事業として続いています。

10月には自治会総出で収穫し、年末には子ども会での「そば打ち教室」として粉挽き、そば打ち、そして大晦日には「年越しそば」を全世帯に子どもたちが配る予定です。

休耕田活用の取組みが、地域の恒例行事として定着し、住民同士の大切なふれあいの場になっています。

(波賀支部 上田めぐみ)

8月28日(日)、今市自治会の休耕田で、恒例のそばの種蒔きが行われました。この日は2歳から79歳まで29人が参加し、一反の田んぼに6キロ程の種を少しずつ分けあって蒔いていきました。

そばでつながるみんなの心
今市自治会



小さな種をまいた後土をかけ鹿網を張るのも手伝いました



ちいさな子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで参加されました

ち
くさ

地域の人とつくる盆踊り 「ちくさの郷」夏まつり

同施設は、平成2年の開設以来、季節ごとに地域との交流を図っています。

習字や生け花のボランティアが利用者の趣味活動のお手伝いをしたり、コーラスや民謡、最近ではカラオケ同好会の皆さんが自慢ののどを披露するなど、利用者との交流に一役買うようになりました。

8月17日(水)、特別養護老人ホームちくさの郷で「ふれあい盆踊り」が開催されました。

利用者の家族、地元の方やボランティア、また、神戸市にあるちくさの郷の姉妹施設の職員も参加し、約140人が盆踊りを楽しみました。



民謡江浪会のみなさんとは平成5年からの長〜いお付き合いだそうです



老いも若きも踊りに夢中、利用者さん思わず参加

さまざまな人々の協力を得ながら、これからも地域に開かれた施設として、人と人がつながる場所となるよう期待しています。

(千種支部 小原志のぶ)